## 【小学校・中学校・義務教育学校用】

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・

次年度への展望

令和7年度学校評価 計画

学校名

評価結果の概要

A:十分達成できている B:おおむね達成できている

C:やや不十分である

**D**: 不十分である

達成度 (評価)

九生 人 人少及ごで枯川 ひはんのフ泊到、担任こ九生 人 人が明ひ日フ「め少はアゴム」、 教具が攻来 ド怀の時間にすこむに対わる時間で唯体されたここ に、 九里少于自忌臥 で及人この財味が良知になっている。 ・4部会を中心に組織的に取り組み、おおむね達成目標には到達したが、体力づくりが、毎年低いので取組を考える必要がある。 前年度

佐賀市立北川副小学校

・「学習環境のユニバーサルデザイン化」「授業のユニバーサルデザイン化」については、本来の理論や目的が薄れて取組が形骸化してきている。

・次年度は、教員一人一人の授業力等を向上させる取組をさらに充実させることで、児童の自主的な学習能度を高めていきたい。

2 学校教育目標

人を大切にする子、自立した子を育てる チーム北川副

本年度の重点目標

**◆人権・同和教育の充実 ◆思いやりや感謝の気持ちを表し、伝える力の育成 ◆あいさつの励行** 

◆「主体的·対話的で深い学び」の実践·授業改善◆基礎学力の定着 ◆読書活動の充実

**◆児童がアイディアや工夫を発揮できる場の工夫** ◆目標や達成感を意識し、自己の成長を振り返る場の工夫

重点取組内容・成果指標					中間評価 5 最終評価					
1)共通評価項目										主な担当者
	重点取組		具体的取組	中間評価		\+ -1\ -	最終評価		学校関係者評価	工作担当有
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	〇全職員による教科等指導力の向上に 係る研修会の実施	○「授業を通して、『できた』『わかった』と 感じる」と回答する児童85%以上	・授業のUD(視覚化・焦点化・共有化)を 促進し、わかる授業づくりをする。		•					
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する 心、他者への思いやりや社会性、倫理 観や正義感、感動する心など、豊かな心 を身に付ける教育活動	いる」と回答する児童90%以上	・特別の教科道徳・特別支援教育に関する校内研修等の実施。 ・毎月の人権教室(集会)を実施する。 ・友達のよさやがんばりを「ぼかぼか カード」に記入し、校内に掲示をし、紹介		•					心豊か部
	●いじめの早期発見、早期対応に向け た取組の充実	○「友達と楽しく学校生活を送っている」 と回答する児童95%以上	童へのいじめアンケートを行う。 ・いじめを発見した場合は、担任一人に任せず、管理職も含むチームで対応する。 ・「人が嫌がることをしない」「人が嬉しくなることをする」といった内容の指導を徹		•		•			心豊か部
		●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童85%以上 ● ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童85%以上 〇「目標が達成できるように工夫して取り組んでいる」と回答した児童80%以上	ねタイム」を実施する。 ・学校応援団の方をゲストティーチャー に招いた活動を展開し、地域の人々のく らしや伝統、文化、職業等についての理 解を深める活動を行う。 ・行事や学期ごとの目標設定や振返り		•		•			心豊か部
	〇相手や場面に応じた挨拶ができるよう 教育活動		・学期初めに「あいさつ」に関する生活目標を提示し、あいさつすることの意味を考えさせ、実行させる。 ・あいさつをしたことが自己評価できるように数値目標(何人にあいさつができたなど)を設定させる。		•		•			暮らし部
●健康・体つくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間と歩いて登下校する時間が1週間で4 20分以上の児童生徒70%以上	・体を動かすことの楽しさを紹介し、児童 の運動への興味関心を高める。						•	健やか部
●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校 等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1日 当たりの年次休暇の取得日数14日以上	回数や時間の削減を図る。 ・個人の取得目標を設定し、長期休業の		•		•			教頭
●特別支援教育の充実	○学習しやすい環境づくり	〇学校のUDや合理的配慮について意識して取り組むことができたと回答する教員90%以上 〇「学習に集中しやすい環境・学級である」と回答する児童・保護者90%以上	・特別支援教育の視点を取り入れた「学習環境のユニバーサルデザイン」「授業のユニバーサルデザイン」「人的環境のユニバーサルデザイン」を図る。・学校運営協議会やPTAと連携し、UDへ		•		•		•	特別支援教育コーディター学び部
本年度重点的に取り組む独					1 0027 /2		D WET I		W 14 10 to \$ *- 2 *-	
	重点取組	成果指標	具体的取組	進捗度	中間評価	達成度	最終評価		学校関係者評価	主な担当者
評価項目	重点取組内容	(数値目標)	旧主の主流と言ふっしているサゴバナ	(評価)	進捗状況と見通し	(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
「〇自ら進んで学ぶ児童」 の推進	〇児童自ら進んで学習活動に取り組む 授業の実践	できた」と感じる」と回答する児童85%以上	<ul><li>・児童の意欲を高めるような授業づくりをする。</li><li>・既習の学習内容から本時の課題をもてるようにする。</li></ul>							研究主任 学び部